

第2回一般社団法人日本核医学会社員総会

日 時 理事会 平成 22 年 11 月 10 日 14:00~17:00
場 所 大宮ソニックシティ

日 時 社員総会(評議員会) 平成 22 年 11 月 11 日 17:15~18:15
場 所 大宮ソニックシティ

理事長 玉 木 長 良
会 長 本 田 憲 業

議 案

- ・ 平成 21 年度事業報告および収支決算報告
- ・ 平成 22 年度事業計画および収支予算案

- ・ 平成 21 年度事業報告および収支決算報告

A. 事業報告

1. 日本核医学会定款細則変更
理事の選出, 学生会員についての定款細則の変更.
2. 学術総会, 春季大会等の開催
 - (1) 第 49 回学術総会を 21 年 10 月 1-3 日旭川旭川グランドホテルにて油野民雄会長主宰のもとに開催.
 - (2) 第 10 回春季大会を 22 年 5 月 7-9 日東京タワーホール船堀にて主催(大会長遠藤啓吾).
 - 1) 核医学基礎セミナー
 - ・ 初心者・卒後研修医コース
 - ・ 看護師コース
 - ・ 薬剤師および薬剤調製者コース
 - 2) 核医学専門医教育セミナー
 - ・ 核医学専門医受験者コース
 - ・ 核医学指導医コース
 - 3) PET 研修セミナー
 - ・ 医師・歯科医師コース
 - ・ 診療放射線技師コース
 - 4) 「I-131 30 mCi 外来投与による甲状腺分化癌

ablation」に関する適正施行講習会(新規)

(3) 地方会活動

第 25 回北海道	22 年 5 月 29 日
第 66 回北日本	21 年 11 月 6 日
第 67 回北日本	22 年 6 月 25 日
第 72 回関東・甲信越	22 年 1 月 30 日
第 73 回関東・甲信越	22 年 7 月 3 日
第 70 回中部	22 年 2 月 21 日
第 71 回中部	22 年 6 月 19 日
第 43 回近畿	22 年 7 月 24 日
第 45 回中国・四国	22 年 6 月 27 日
第 45 回九州	22 年 2 月 14 日

(4) 分科会活動

1. 腫瘍・免疫核医学研究会
(担当理事: 佐々木雅之,
代表世話人: 絹谷清剛)

第 46 回	21 年 11 月 14 日
第 47 回	22 年 5 月 8 日
2. 日本脳神経核医学研究会
(担当理事: 畑澤 順, 運営委員長: 伊藤健吾)

第 10 回	21 年 10 月 3 日
--------	---------------
3. 日本心臓核医学会
(担当理事: 山崎純一, 理事長: 玉木長良)

第 20 回	22 年 6 月 25 日
--------	---------------
4. 呼吸器核医学研究会
(担当理事: 竹田 寛, 代表幹事: 小須田茂)

第 21 回	21 年 10 月 3 日
第 22 回	22 年 4 月 22 日

5. PET 核医学分科会

(担当理事：千田道雄，執行委員長：千田道雄)

PET サマーセミナー 2010

22年8月20-22日

(5) 共催・協賛・後援

- ・第11回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(21年9月12日 東京 日本アイソトープ協会) 共催
- ・HIMAC 15周年記念講演会「重粒子線がん治療の15年 5000人の治療成果」(21年10月23日 東京 東京国際フォーラム) 後援
- ・第13回放射線プロセスシンポジウム(21年11月12-13日 東京 日本科学未来館) 協賛
- ・第9回放射性医薬品・画像診断薬研究会(21年11月14日 京都 京都大学薬学部記念講堂) 協賛
- ・第8回有痛性骨転移の疼痛緩和治療における塩化ストロンチウム 89 治療の安全取扱講習会(21年11月21日 UDX カンファレンス) 共催
- ・第29回医療情報学連合大会(21年11月21-25日 広島 広島国際会議場) 協賛
- ・第4回放射線医学総合研究所分子イメージング研究センターシンポジウム(21年11月27日 千葉 放射線医学総合研究所) 後援
- ・第1回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法講習会(21年12月12日 東京 航空会館) 共催
- ・第9回重粒子医科学センターシンポジウム「先端科学と社会の接点」(21年12月18-19日 東京 放射線医学総合研究所) 後援
- ・Pheochromocytoma Symposium 2009(21年12月19日 東京 東京国際フォーラムホール) 後援
- ・分子イメージングシンポジウム 2010 未来を拓く創薬・疾患診断研究 (22年1月21-22日 東京 日経ホール) 後援
- ・第19回放射線利用総合シンポジウム(22年1月22日 大阪 大阪大学中之島センター)

協賛

- ・分子イメージングシンポジウム 2010 基盤技術のイノベーションから臨床応用へ (22年1月23日 東京 ベルサール八重洲) 後援
- ・第12回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(22年1月23日 東京 日本アイソトープ協会) 共催
- ・第4回ミニシンポジウム「イメージングバイオマーカーが拓く明日の医療・創薬 放射線イメージング薬ガイドスの制定に向けて」(22年2月19日 東京 東京大学薬学部) 共催
- ・第2回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法講習会(22年2月27日 大阪 梅田センタービル) 共催
- ・第16回独立行政法人放射線医学総合研究所公開講座「医療における放射線 現場の質問に答える」(22年3月13日 千葉 幕張メッセ) 後援
- ・第13回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(22年4月24日 東京 日本アイソトープ協会) 共催
- ・第9回有痛性骨転移の疼痛緩和治療における塩化ストロンチウム 89 治療の安全取扱講習会(22年5月15日 東京 家の光会館コンベンションホール) 共催
- ・第3回核医学専門技師研修セミナー(22年5月23日 東京 東京医科大学病院) 後援
- ・第2回核医学専門技師養成講座(22年5月23日 東京 東京医科大学病院) 後援
- ・原子力総合シンポジウム 2010(22年5月26-27日 東京 日本学術会議講堂) 共催
- ・医薬品開発支援機構シンポジウム「NEDO 橋渡し促進技術開発/マイクロドーズ臨床試験を活用した革新的創薬技術の開発」(22年5月28日 東京 ベルサール八重洲) 協賛
- ・第16回画像センシングシンポジウム(22年6月9-11日 横浜 パシフィコ横浜アネックスホール) 協賛

- ・第 47 回アイソトープ・放射線研究発表会
(22 年 7 月 7-9 日 東京 日本科学未来館)
共催
- ・第 29 回日本医用画像工学会大会(22 年 7 月
30 日 平塚 東海大学湘南キャンパス)協賛
- ・第 14 回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体
を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(22
年 7 月 31 日 東京 日本アイソトープ協会)
共催

3. 出版活動

(1) 学会誌出版

核医学 46 巻 3-4 号 47 巻 1-2 号 計 4 冊

掲載論文数 3 編 総頁数 535 頁

Annals of Nuclear Medicine

Vol. 23 No. 7-10 Vol. 24 No. 1-7 計 11 冊

掲載論文数 109 編 総頁数 770 頁

(2) インパクトファクター

2009 年度 ANM 誌に 0.917 点が付与された。

(2005 年度 0.763 , 2006 年度 0.779 , 2007 年
度 0.987 , 2008 年度 1.099)

4. 日本核医学会専門医審査

(1) 第 7 回専門医試験実施

22 年 6 月 22 日実施(会場日本医科大学)し,
受験申請者 69 名中 64 名を合格とした。

(2) 専門医更新審査

専門医更新申請のあった 164 名, 専門医更新の
保留・延期願いのあった 29 名を承認した。

(3) 専門医教育病院審査

7 病院を新規認定し, 150 病院の認定を更新した。

(4) PET 核医学認定医審査

PET 核医学認定医申請のあった 124 名を認定
した。

(5) PET 核医学歯科認定医審査(新規)

日本歯科放射線学会と日本核医学会で PET 核

医学歯科認定医を認定することとした。PET 核医
学歯科認定医申請のあった 17 名を認定した。

(6) 学術集会の審査

申請のあった 2 集会を認定した。なお認定され
た集会の出席者に以下の点数を与えることとし
た。

京滋心腎代謝ネットワーク画像研究会 3 点

西東京核医学研究会 3 点

5. 日本核医学会賞等授賞

(1) 第 6 回日本核医学会研究奨励賞 最優秀賞

21 年 10 月 2 日第 49 回学術総会において研究
奨励賞受賞者 3 名の中から下記 1 氏に決定した。

辻川 哲也 氏

(2) 第 49 回日本核医学会賞

22 年 8 月 30 日理事会において応募 3 名の中か
ら下記 1 氏に決定した。

吉永 恵一郎 氏

(3) 2010 年久田賞(日本核医学会機関誌論文賞)

21 年発行の核医学 46 巻および ANM 23 巻原著
論文中より, 優秀論文 3 編を 2010 年久田賞(日
本核医学会機関誌論文賞)に選出した。

金賞 山谷 泰賀氏 論文

(ANM 23 巻 183-190 頁)

銀賞 豊原 潤氏 論文

(ANM 23 巻 301-309 頁)

銅賞 志田原 美保氏 論文

(ANM 23 巻 163-171 頁)

(4) 第 7 回日本核医学会研究奨励賞

22 年 8 月 30 日理事会において応募 4 名の中か
ら下記 3 氏に決定した。

北島 一宏氏, 諸岡 都氏,

山谷 泰賀氏

(5) 2010 年アジア研究奨励賞

(Asian Young Investigator Award for 2010)

21 年 5 月 7 日理事会において応募 3 名の中か

ら下記 2 氏に決定した。

Su Jin Lee 氏 (Korea)

Chunlei Zhao 氏 (China)

6. 庶務報告

(1) 社員総会(評議員会)開催

第 1 回社員総会を 21 年 10 月 2 日旭川グランドホテルで開催。

(2) 会員数(22 年 8 月 31 日現在)

正会員・一般会員	3,444 名
前年度	3,498 名
新入会	219 名
学生会員に変更	3 名
退会	270 名
賛助会員	22 社(43.5 口)
学生会員	59 名
前年度	54 名
新入会	13 名
正会員・一般会員に変更	3 名
退会	5 名

物故会員 (敬称略)

安藤 久美子, 石坂 彰敏, 石橋 晃,
位部 清一郎, 岡田 忠幸, 片山 晶,
狩野 利之, 古賀 佑彦, 堀田 とし子

(3) 平成 25 年開催第 53 回学術総会会長の選出

現評議員 179 名の推薦投票(127 票)をもとに、理事会の承認を得て、第 53 回学術総会会長に桑原康雄氏が決まった。

(4) 名誉会員推薦

下記の 4 氏を名誉会員に推薦し承認した。

今枝 孟義, 小西 淳二, 利波 紀久,
吉田 祥二 (敬称略)

(5) 功労会員推薦

下記の 2 氏を功労会員に推薦・承認し、総会終了後功労会員証を贈った。

小林 毅, 森田 誠一郎 (敬称略)

(6) 理事会, 役員会等および委員会

理事会 4 回(21 年 9 月 30 日旭川グランドホテル, 22 年 2 月 22 日(社)日本アイソトープ協会, 22 年 5 月 7 日タワーホール船堀, 22 年 8 月 30 日(社)日本アイソトープ協会)編集委員会(委員 12 名)

絹谷清剛委員長のもとに核医学および ANM 投稿論文の審査と編集作業を行った。2010 年久田賞(日本核医学会機関誌論文賞)の受賞者の選考を行った。

「投稿論文に関する研究の臨床試験登録」に関する新規定を設けた。

教育・専門医審査委員会(委員 16 名)

汲田伸一郎委員長のもとに核医学専門医試験の実施, 核医学専門医・核医学専門医教育病院・PET 核医学認定医・PET 核医学歯科認定医の審査および専門医制度の検討, 学術総会の教育講演の検討, 春季大会プログラムの検討を行った。

PET 核医学委員会(委員 15 名)

穴戸文男委員長のもとに, PET 検査に関する諸問題の検討と対外活動を行った。「陽電子断層撮影診療に関する所定の研修」として, PET 研修セミナーを開催した。

健保委員会(委員 12 名)

伊藤健吾委員長のもとに健保問題の検討と対外活動を行った。

広報委員会(委員 12 名)

尾川浩一委員長のもとにホームページ等で広報活動を行った。

リスクマネジメント委員会(委員 2 名)

望月輝一委員長のもとに核医学に関する臨床現場および核医学全般に関するリスクマネジメントについて検討を行った。

放射線防護委員会(委員 9 名)

本田憲業委員長のもとに放射線防護に関する諸問題の検討を行った。

倫理検討委員会(委員 11 名)

竹田 寛委員長のもとに, 編集委員会と検討を行って「臨床研究の利益相反管理に関する指針」を作成した。

学会賞選考委員会(委員7名)

桑原康雄委員長のもとに学会賞, 研究奨励賞, アジア研究奨励賞の受賞者の選考を行った。

放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会(委員11名)

荒野 泰委員長のもとに「放射性医薬品臨床評価ガイドライン」に関する諸問題の検討を行った。

核医学認定薬剤師に関する検討委員会(委員15名)

荒野 泰委員長のもとに核医学認定薬剤師に関する検討を行った。

第10回春季大会実行委員会(委員11名)
遠藤啓吾委員長のもとに, 第10回春季大会を開催した。

第11回春季大会実行委員会(委員10名)
玉木長良委員長のもとに, 第11回春季大会開催に関する検討を行った。

将来計画委員会(委員3名)

畑澤 順委員長のもとに, 学会の将来計画について検討を行った。

分子イメージング戦略会議(委員8名)

井上登美夫委員長のもとに分子イメージングに関する諸問題の検討を行った。

第50回学術総会記念誌作成委員会(委員7名)

本田憲業委員長のもとに第50回学術総会記念誌「日本核医学会学術総会50回のあゆみ」の編集作業を行った。

(7) ワーキンググループ活動

以下の6ワーキンググループを設置し活動を行った。

1. 慢性肺血栓塞栓症診断における肺血流SPECTと胸部CTAの対比検討 多施設共同研究(代表者小須田茂, 他11名)
2. 「Gamut of FDG-PET」の作成(代表者御前隆, 他5名)
3. α 線を用いたがんの最小侵襲治療法のあり方について(代表者井上登美夫, 他7名)

4. 糖尿病および合併症における核医学検査の適応に関するガイドラインの作成(代表者西村恒彦, 他15名)

5. Mo-99, Tc-99m 供給問題とその対策(代表者遠藤啓吾, 他8名)

6. 放射能の投与量と収集時間が画質に与える影響に関する基礎検討(代表者佐治英郎, 他8名)

(8) 対外活動

以下の団体等に委員を出して対外活動を行った。

日本医学会, 日本学術会議, 内科系学会社会保険連合, 日本専門医制評価・認定機構, 日本アイソトープ協会放射線発表会, 日本医学会医学用語管理委員会, 原子力総合シンポジウム, 放射線測定器規格化国際委員会, 日本医学放射線学会放射線防護委員会・用語委員会・医療事故防止委員会, 医療放射線防護連絡協議会, 放医研重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会, 日本医学教育学会, 医療廃棄物検討連絡会, 医学放射線物理連絡協議会, 日本核医学専門技師認定機構, 日本がん治療認定機構

国際学会[世界核医学会(WFNM&B), 米国核医学会(SNM), 欧州核医学会(EANM), アジアオセアニア核医学会(AOFNM&B), 日韓中核医学会, アジア地域核医学分科会(ARCCNM)]

米国核医学会(第57回米国核医学会年次学術集会: 2010年6月5-9日ソルトレイクシティにおいて, 日本核医学会企画の生涯教育(CE)シンポジウムを開催した。

(9) 科学研究費補助金

学術刊行物(ANM)に対して文部科学省より平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)1040万円が交付された。

(10) その他

B. 収支決算報告

1. 平成 21 年度一般社団法人日本核医学会損益報告書(別表)

(平成 21 年 9 月 1 日～22 年 8 月 31 日)

. 平成 22 年度事業計画および収支予算案

A. 事業計画

1. 学術総会, 春季大会等の開催

(1) 第 50 回学術総会を本田憲業会長のもとに, 22 年 11 月 11-13 日さいたま市にて開催. 第 50 回を記念して第 50 回記念式典を 22 年 11 月 13 日に開催.

第 50 回記念誌「日本核医学会学術総会 50 回のあゆみ」を発行.

(2) 第 11 回春季大会を玉木長良大会長のもとに 23 年 5 月 6-8 日大阪市にて開催.

1) 核医学基礎セミナー

- ・初心者・卒後研修医コース
- ・看護師コース
- ・薬剤師および薬剤調製者コース

2) 核医学専門医教育セミナー

- ・核医学専門医受験者コース
- ・核医学指導医コース

3) PET 研修セミナー

- ・医師・歯科医師コース
- ・診療放射線技師コース

4) 「I-131 30 mCi 外来投与による甲状腺分化癌 ablation」に関する適正施行講習会

(3) 地方会活動

(4) 分科会活動

1. 腫瘍・免疫核医学研究会

第 48 回の開催

2. 日本脳神経核医学研究会

第 11 回の開催

3. 日本心臓核医学会

第 21 回の開催

4. 呼吸器核医学研究会

第 23 回, 第 24 回の開催

5. PET 核医学分科会

PET サマーセミナー 2011

(5) 共催・協賛・後援

- ・PET 分子イメージングと放射線防護 国際規範の最新動向と核医学における線量評価の実践 (22 年 9 月 23 日 東京 三菱ビル) 共催
- ・第 15 回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(22 年 10 月 16 日 東京 日本アイソトープ協会) 共催
- ・第 9 回トリチウム科学技術国際会議 2010(22 年 10 月 24-29 日 奈良 奈良県新公会堂) 協賛
- ・第 2 回メタロミクス研究フォーラム(22 年 11 月 2-3 日 京都 京都薬科大学愛学館愛学ホール) 協賛
- ・第 30 回医療情報学連合大会(22 年 11 月 18-21 日 浜松 アクティシティ浜松) 協賛
- ・分子イメージング研究戦略推進プログラム キックオフシンポジウム 2010」(22 年 11 月 24 日 東京 オリピック記念青少年総合センター) 後援
- ・第 5 回放射線医学総合研究所分子イメージング研究センターシンポジウム「RI 分子プローブの開発と応用」(22 年 11 月 29 日 千葉 放射線医学総合研究所) 後援
- ・第 10 回有痛性骨転移の疼痛緩和治療における塩化ストロンチウム 89 治療の安全取扱講習会(22 年 12 月 11 日 東京 飯田橋レインボービル) 共催
- ・第 16 回イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会(23 年 1 月 22 日 東京 日本アイソトープ協会) 共催
- ・第 20 回放射線利用総合シンポジウム(23 年 1 月 26 日 大阪 大阪大学中之島センター) 協賛

- ・第3回呼吸機能イメージング研究会学術集会 / 第5回肺機能イメージング国際ワークショップ(23年1月28-30日 淡路市 兵庫県立淡路畝舞台国際会議場) 後援
 - ・第30回日本医用画像工学会大会 協賛
 - ・原子力総合シンポジウム2011 共催
 - ・第4回核医学専門技師研修セミナー 後援
 - ・第3回核医学専門技師養成講座 後援
 - ・第17回画像センシングシンポジウム 協賛
 - ・第48回アイソトープ・放射線研究発表会 共催
 - ・第10回重粒子医科学センターシンポジウム 後援
2. 出版活動
- (1) 核医学 48巻3-4号, 49巻1-2号 計4冊
- (2) Annals of Nuclear Medicine
Vol. 24 No. 8-10, Vol. 25 No. 1-7 計10冊
3. 日本核医学会専門医審査
- (1) 第8回核医学専門医試験実施
- (2) 核医学専門医更新審査
- (3) 核医学専門医教育病院の認定・更新審査
- (4) PET核医学認定医審査
- (5) PET核医学歯科認定医審査
- (6) 学術集会の審査
4. 日本核医学会賞等授賞
- (1) 第7回日本核医学会研究奨励賞最優秀賞の選考
- (2) 第50回日本核医学会賞候補者の募集と選考
- (3) 2011年久田賞(日本核医学会機関誌論文賞)の選考
- (4) 第8回日本核医学会研究奨励賞候補者の募集と選考
- (5) 2011年アジア研究奨励賞候補者の募集と選考
5. 庶務計画
- (1) 社員総会(評議員会)開催
社員総会(評議員会)を平成22年11月11日大宮ソニックシティホールにおいて開催。
- (2) 評議員・理事・監事・理事長の選挙実施
- (3) 平成26年開催第54回学術総会会長選出
- (4) 名誉会員推薦
該当者なし。
- (5) 功労会員推薦
下記の7氏を功労会員に推薦する。
飯田 龍一, 沖田 功, 木村 繁男,
末富 一臣, 中村 護, 長谷川 義尚,
原 巖 (敬称略)
- (6) 特別功労者
第50回日本核医学会学術総会記念事業として80歳以上の名誉会員18氏を特別功労者として表彰する。
伊藤 國彦, 刈米 重夫, 本保 善一郎,
小嶋 正治, 木下 文雄, 永井 輝夫,
鳥塚 莞爾, 山岸 嘉彦, 入江 實,
町田 豊平, 有水 昇, 細田 四郎,
田中 栄一, 染谷 一彦, 橋本 省三,
久田 欣一, 菱田 豊彦, 平木 辰之助
(敬称略)
- (7) 委員会等開催
編集委員会
教育・専門医審査委員会
PET核医学委員会
健保委員会

広報委員会
 リスクマネージメント委員会
 放射線防護委員会
 倫理検討委員会
 学会賞選考委員会
 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
 核医学認定薬剤師に関する検討委員会
 第11回春季大会実行委員会
 将来計画委員会
 分子イメージング戦略会議
 選挙管理委員会

(8) ワーキンググループ活動

以下の6ワーキンググループを設置し活動を行う。

1. 糖尿病および合併症における核医学検査の適応に関するガイドラインの作成(代表者西村恒彦, 他15名)
2. Mo-99, Tc-99m 供給問題とその対策(代表者遠藤啓吾, 他8名)
3. 放射能の投与量と収集時間が画質に与える影響に関する基礎検討(代表者佐治英郎, 他8名)
4. 造影PET/CTのエビデンス確立と標準化プロトコルの作成(代表者中本裕士, 他4名)
5. 「Gamut of FDG-PET」の出版(代表者御前隆, 他6名)

6. 核医学診療のあり方に関する医療経済学的分析(代表者奥真也, 他4名)

(9) 対外活動

以下の団体等に委員を出して対外活動を行う。

日本医学会, 日本学術会議, 内科系学会社会保険連合, 日本専門医制評価・認定機構, 日本アイソトープ協会放射線発表会, 日本医学会医学用語管理委員会, 原子力総合シンポジウム, 放射線測定器規格化国際委員会, 日本医学放射線学会放射線防護委員会・用語委員会・医療事故防止委員会, 医療放射線防護連絡協議会, 放医研重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会, 日本医学教育学会, 医療廃棄物検討連絡会, 医学放射線物理連絡協議会, 日本核医学専門技師認定機構, 日本がん治療認定機構

国際学会[世界核医学会(WFNM&B), 米国核医学会(SNM), 欧州核医学会(EANM), アジアオセアニア核医学会(AOFNM&B), 日韓中核医学会, アジア地域核医学分科会(ARCCNM)]

(10) 科学研究費補助金

文部科学省平成23年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)公募の申請を行う。

(11) その他

- B. 平成22年度収支予算案(別表)